

益田市(益田市周辺)の全ての小学校へのアウトリーチ活動「出前実験」・「理科読を楽しむ会」

地域の教育力を向上させる!



「理科読を楽しむ会」で風船ロケットを飛ばす

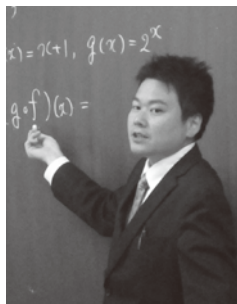
教えることで生まれる相乗効果

島根県立益田高等学校がある益田市の周辺には、理系学部を擁する大学や児童、生徒の科学的興味を喚起するための科学館などがない。そこで益田高校では、地域の教育力を高めるべく、近隣の小学校などとの協力体制を構築。生徒が小学校に赴き、児童たちに科学実験を体験できる授業を行う「出前実験」や「理科読を楽しむ会」を行っている。

当初の狙いは、子どものときから「なぜこうなるのか」といった疑問を持つことで科学に対する興味を育てることだったが、担当の原木善二教諭は「高校生の生徒たちも、教えることの難しさや楽しさを知ると同時に、コミュニケーション能力やプレゼン能力が向上しています」と相乗効果を実感している。

高

島根県立益田高等学校



出前実験



ポスターを用いた実験内容説明



新聞ドームの作成

●実施担当

原木善二 教諭

●活動のモットー

「相手にどう伝えるのか」を考えるなかで、自らの科学的な知識を深めさせるのが狙い。そのため、出前実験などでは、教員は一切手を出さない。

「知性に富み、心身共に健やかで、自らの力で未来を切り拓く生徒を育てる」を教育目標に掲げる、創立106年の伝統校。

学校概要

設立: 1912年
生徒数: 513人

所在地: 島根県益田市七尾町1-17

授業を受けた児童たちが、教える側に

児童の反応について、原木教諭および平成28年度まで同プロジェクトを担当していた福満晋教諭(現・島根県立浜田高等学校)は、異口同音に「身近なお兄さんやお姉さんが教えてくれる、という親しみやすさがあるようで、とても楽しみにしてくれています」と語る。さらには「自分も益田高校に入学して、教える側として実験をやってみたい」という思いを抱く児童も少なくないのだという。

実は、益田高校がこの活動を始めたのは平成23年のことだった。平成29年ですでに7年目を迎えており、実際に、小学6年生のときに「出前実験」や「理科読を楽しむ会」の授業を受けて「自分もやってみたい」と思った児童が、益田高校に入学して教える側になっているという実例がいくつも出てきている。アウトリーチ活動で科学への興味を育てる益田高校の取り組みは、着実に成果を上げつつあるのだ。(平成28年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創業者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索